

市民サロン塾 第二回(平成25年6月10日(月)13:30~15:30)

「絆」でつくる 安心・安全なまちづくり

講師：桃井 慎二 氏(西原在住)

報告： S. K. と K. E.

今日のテーマに入る前に桃井先生より大震災以降、今年被災地へ訪れた時の状況をお話し頂き、今まだ復興には時間が掛りそうだとの事でした。ボランティアの人数も徐々に減り、現在では6,000人余りだそうです。

震災時に人と人との絆の大切さが大きな流れとして日本中を駆け巡りました。この絆の大切さが地域にも復活し、「向こう三軒両隣り」を気に掛けるようになって来ているようです。世界の高齢化速度比はフランス114年、アメリカ69年、イギリス46年、ドイツ42年、日本24年と日本は超々高齢化社会へ速進中だそうです。

介護保険制度も年々厳しい状況で使用するのが難しくなって来ている昨今、イザという時「頼りになるのは遠くの親戚より近くの他人」になる様、日頃より皆でコミュニケーションを取る様に心掛けるべきとのこと。

老人が老人の介護の時代になり、健康の3要素 ①運動、②栄養(食事)、③休養と自分も心がけ、お互いを支え合える絆を育む様にとの事でした。自分さえ幸福であれば良いではなく、皆で幸福な毎日を暮せる事が、人と人との絆が象徴している様に感じました。

内容的には、もう少し「絆でつくる安心・安全なまちづくり」にふれてほしかったかな・・・とも思いました。



資料も桃井先生、野崎様にも用意頂き、ありがとうございました。